

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(病欠等) 議：議長(原則、採決には加わらず)

件名	要旨(提案議員が作成)	議員														議決結果											
		清水	吹春	遠藤百合子	湯沢綾子	五十嵐京子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	たゆ久貴	寺内だい作	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子		小林正樹	宮下誠	白井亨	水谷たかこ	片山かおる	斎藤康夫	渡辺大三	安田けいこ	古畑俊男	坂井えつ子	
新型コロナウイルス感染症から命を守る緊急対策を求める意見書	政府に対して、新型コロナウイルスの緊急対策として、医療機能を強化した宿泊療養施設や臨時の医療施設の設置、入院病床の確保、在宅患者を支える体制の抜本強化、医療機関への財政支援と医療従事者の待遇の抜本改善及び感染伝播の鎖を絶つ大規模検査などを求める。	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	-	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	-	○	原案可決
1億円を超える遺贈に対し、礼を欠く対応への反省を求める決議	重い障がいを持ち昨年亡くなった一市民から遺贈として1億円余の寄附があったが、遺言執行者への礼を欠く市の対応、お礼文も発送されていないことが明らかになった。余りにも事務的な一連の対応は遺贈者への感謝の気持ちを欠き、市の対応に強く反省を求める。	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	原案可決
入管死亡事件の真相究明と全件收容主義の廃止を求める意見書	名古屋出入国在留管理局の收容施設でスリランカ人女性が亡くなったが、仮放免や入院の必要性など入管行政は構造上の問題がある。真相究明と再発防止のための調査、ビデオ映像の全面開示、国会での十分な審議を行うことと、「全件收容主義」の廃止を求める。	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	-	○	○	×	×	×	○	○	○	△	○	○	○	○	○	原案可決
土石流災害を防止するために、「盛り土」の規制強化を求める意見書	現在、宅地を造ったり、廃棄物を埋めたりする場合の盛り土は、法律で安全対策が義務付けられているが、ビルの建設工事で出る残土を処分するための規制はない。そのため、不法投棄される場合がある。土石流から人命を守るため、盛り土の規制強化を求める。	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書に対し、関係行政庁等の回答義務付けを求める意見書	意見書を受け取った関係行政庁等からは回答がなく、その処理について知る術がないため、関係行政庁等に回答義務を課すこと及び国会に対するものは、その内容の是非を審議するよう明記するなど、法に基づき意見書の実効性を担保するよう求める。	×	×	×	×	×	×	△	議	△	○	-	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
出産育児一時金の増額を求める意見書	出産費用は年々増加し、出産育児一時金の支給があるものの、最も高い東京都では平均20万円持ち出している状況である。一方、2019年度、全国の出生数は過去最少となった。出産時の経済的な支援策を強化すべく、負担に見合う形に一時金の引上げを求める。	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	選択的夫婦別姓制度について、調査では、導入に賛成または容認すると答えた国民は反対を上回っている。また、最高裁判決では、夫婦の氏については国会で判断されるべきとされている。よって、同制度の法制化に向けた積極的な議論を行うよう強く要望する。	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
生活保護の級地見直しに関する意見書	級地の見直しは、都市部の生活保護世帯を中心に、更なる保護基準引下げとなる恐れがある。級地の枝番の廃止の目的及び廃止後の保護基準の内容を明らかにすること、生活保護基準部会において十分な審議と検証を行えるよう検討スケジュールを見直すことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
化学合成農薬半減の目標実現のため、農産物検査規格の抜本的な見直し及び新たなJAS規格では精米を対象とすることを求める意見書	国は本年5月、ネオニコチノイド系農薬などの使用量を2050年までに半減する方針を打ち出した。この実現のため、農産物規格規程の着色粒規定の廃止、斑点米カメムシ類の「指定有害動植物」の解除、新たなJAS規格は精米を対象とすることを求める。	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	-	○	○	×	×	×	○	○	△	○	○	○	○	○	○	原案可決
食品に含まれる放射能基準値の規制緩和をしないことを求める意見書	復興庁が野生キノコやジビエなどの放射能基準値を摂取量や市場流通量が少ないことを理由に現在の100ベクレル/kgから最大100倍に緩和することを検討しているが、実害につながる恐れがあり容認できない。規制緩和をしないことを求める。	×	×	×	×	×	△	△	議	○	○	-	○	○	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	原案可決
中小事業者の営業を守るため、消費税に係るインボイス制度の延期を求める意見書	消費税のインボイス制度(適格請求書等保存方式)は課税事業者、免税事業者のどちらも負担が増える。コロナ禍で自営業など経営危機が深まっており、対応できる状況ではない。中小企業の営業を守るため消費税のインボイス制度の実施の延期を求める。	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	-	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書	辺野古新基地建設を中止し、普天間基地の代替施設が国内に必要か否か国民的議論を行い、必要という結論になるのなら、沖縄以外の自治体を等しく候補地とし、憲法に基づき一地域への押し付けとならないよう公正かつ民主的な手続きにより決定することを求める。	×	×	×	×	×	○	○	議	○	○	-	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
精神科病院に入院中の患者が新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに感染症に対応可能な病院へ転院できるように体制の構築を求める意見書	精神科病院に入院中の患者が新型コロナウイルス感染症に罹患し、感染症に対応可能な病院へ転院できずに235名が死亡した。政府に対し、都道府県の首長の責任において、患者が必要な医療の提供を受けることができる体制を講ずることを求める。	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
公立保育園の廃園方針(案)を巡り混乱を招いていることに対し猛省を求める決議	市は公立保育園3園の廃園方針を突然明らかにし、その後保護者と議会の指摘を受け1年延期を宣言した。超短期的スケジュールで廃園を決定事項のように持ち出し、保護者等に大きな混乱を招いている。これらは保護者等との理解を得て進めることを強く求める。	○	○	○	○	○	△	△	議	△	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
国からの通知に従わない職員ボーナス支給を長年にわたって続けている西岡市長の責任を厳しく問い、速やかな是正措置を求める決議	引き上げられているボーナスは年約1千万円になる。この財源は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民生活を支えるためにこそ使われるべきだ。よって、西岡市長に対し、責任を厳しく問い、この冬の支給に間に合わせて是正することを強く求める。	○	○	○	○	○	△	△	議	△	△	-	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
新型コロナウイルス感染症が社会経済状況や市財政に与える影響に鑑み、新庁舎等建設の見直しを求める決議	新型コロナウイルス感染症が市民生活や市財政に与える影響は予測を許さない状況だ。新庁舎等建設事業の総事業費は116億円にも膨れ上がっている。現在の設計内容とスケジュールで建設を進めることは困難である。西岡市長に対し、建設の見直しを求める。	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	原案可決

【党派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 会：こがねい市民会議
 み：みらいのこがねい 情：情報公開こがねい
 共：日本共産党小金井市議団 ネット：生活者ネットワーク
 公：小金井市議会公明党 気：元氣!小金井
 お：小金井をおもしろくする会
 市：市民といっしょにカエル会
 緑：緑・つながる小金井

1億円を超える遺贈に対し、礼を欠く対応への反省を求める決議

反対討論 (要旨)
 沖浦あつし(みらい)
 本市への遺贈による寄附を頂いた故人のご冥福をお祈りし、感謝申し上げる。市担当者が、当該遺言執行者の稲葉孝彦元市長と再三の面会や電話に応じ、市は故人の思いに配慮し、当該寄附を地域福祉基金に積み立てたことが明らかになった。本決議文は法的根拠が乏しい上に、礼を欠く市の対応が何かの明示もなく、個人情報を盾に、余りにも事務的な一連の対応とあるが、法令上の事務執行の範囲を超えた特別な対応を議会が求めることはあり得ず、反対する。

反対討論 (要旨)
 遠藤百合子(自民党・信頼)
 平成27年の判決に引き続き、令和3年6月の最高裁判所大法廷でも夫婦別姓は合憲であると判断された。平成30年の内閣府世論調査では、「夫婦別姓維持が53・7%」「選択的夫婦別姓導入が42・5%」とされている。大法院で裁判官3人が「法制度をめぐると国民の意識の有様が、よほど客観的に明らかと言える状況にある場合はともかく、選択的夫婦別姓の導入については、今なおそのような状況にあるとはいえない」と述べている。

反対討論 (要旨)
 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書

**広報協議会を
開催しました**

- 【9月22日】各部会の状況報告について
- 【11月17日】議会改革の調査事項について

**全員協議会を
開催しました**

- 【8月24日】新型コロナウイルス感染症への市の対応について
- 【11月9日】新築市中期財政計画(案)について
- 【10月6日】小金井市中期財政計画(案)について
- 【11月16日】庁舎等複合施設建設事業財源計画(案)及び小金井市中期財政計画(案)について

賛成討論 (要旨)
 水上洋志(日本共産党)
 普天間基地の閉鎖・無条件撤去が必要である。沖縄以外の自治体への基地押し付けも反対である。辺野古新基地建設の埋め立ての土砂を、沖縄戦の戦没者の遺骨が混じる本島南部から採取することは問題である。建設予定地に軟弱地盤が見つかり、必要な土砂が当初の7倍に増加したため、計画そのものが破綻している。内容は、国内移設を前提とするのではなく、あくまでも国民的議論を行うことを求めるものであり、賛成する。